



# 来て! 観て! みどころいっぱい 射水(新湊)ベイエリア



## 1 日枝神社

- ・鳥居は、笠木の上の中央に棟柱(束)を立て、手を合わせたような破風を架す形状で「合掌鳥居」と呼ばれている。(市指定文化財)
- ・玉垣(市指定文化財)や灯笼には北前船で運ばれた瀬戸内産の石が使われ、船間屋や船名が刻まれている。

## 2 旧南嶋商行社屋(現牧田組本社屋)

- ・対岸貿易と地元の産業の発展に貢献した南嶋間作が設立。
- ・イギリス人が設計し大正4年に事務所として建設された、木骨レンガ貼りの歴史的建造物。(国登録有形文化財)
- ・当時「新湊のロンドン」と呼ばれた。

## 3 三ヶ新道標

- ・京、能登、出羽への三叉路に立ち、「追分の辻」とも言われた。
- ・道標の材質は瀬戸内産の御影石で、南面に元禄袖が彫られ時代相がしのばれる。(市指定文化財)
- ・スケールの大きい表示は、県内随一。

## 4 漁民義人塚

- ・江戸時代「バンドリー揀」の首謀者として斬首された、漁民総代の佐賀野屋久右衛門と嵐屋四郎兵衛を弔った墓碑。
- ・2006年「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選」に選定。

## 5 西宮神社

- ・豊漁と海上の安全祈願、漁業の神「恵比須」を祀る。
- ・ボンボコ祭り(県指定文化財)、潤建の恵比須様渡しなど漁業関係の神事が多い。
- ・内川側の低い鳥居は、漁船からお参りできる。

## 6 気比住吉神社

- ・「気比社」(海上交通の神)と「住吉社」(海と航海の神)が合祀され、鳥居には二つの神社額が掲げられている。
- ・拝殿の木彫りの狛犬は、放生津八幡宮の狛犬と同じ「矢野啓通」作。(市指定文化財)

## 7 専念寺(浄土真宗東本願寺派)

- ・守護代神保氏の崇敬が厚く格式のある古刹。
- ・黒松と赤松の交配種で、突然変異により傘を広げたような傘松(樹齢300年)は見事。(県指定天然記念物)
- ・銅鐘は在銘の和鐘として県内最古。(県指定文化財)

## 8 旧渡辺家(番屋カフェ)

- ・北前船の船主の家で築100年以上の内蔵や中庭に当時の面影が残る。
- ・「番屋カフェ」として内川散策の休憩所になっている。
- ・窓から眺める内川の風景はすばらしい。
- ・近年、映画のロケ地としても注目されている。

## 9 川の駅新湊

- ・内川散策の拠点となる憩いのスペース。(休館日:第4水曜日)
- ・新湊曳山祭りの曳山の展示、特産品の販売コーナー、カフェレストランがある。
- ・新湊観光船の乗り場や受付窓口、レンタサイクルがある。

## 10 大楽寺(浄土宗)

- ・本堂は明治初期の土蔵造りで、木造造りの庫裏とともに国登録有形文化財。
- ・浄土宗本山「知恩院」第71世万誉上人得度の寺。

## 11 曼陀羅寺(浄土宗)

- ・境内に天満宮や塚塚がある。
- ・加賀藩主前田利長公が重病のおり、当寺の祈禱を受け平癒した。利長はこの功績を称賛し、「菅公画像」(市指定文化財)及び「青不動」「観経浄土変相図」(県指定文化財)を与えた。

## 12 光明寺(高野山真言宗)

- ・本尊は金毘羅大権現。
- ・延命地藏菩薩、薬師如来は市指定文化財。
- ・白寿観音菩薩は、「ポケ封じの観音様」として親しまれている。

## 13 放生津八幡宮

- ・大伴家持が越中国司として在任中奈呉の浦の景勝を愛し、九州の宇佐八幡神を勧請し「奈呉八幡宮」と称したのが起こり。
- ・10月1日新湊曳山祭り(県指定文化財)、2日秋季例大祭・放生会式・築山行事(県指定文化財)。

## 14 光山寺(浄土宗)

- ・本願寺蓮如六文字御名号は、「手操り講」の御講仏。(市指定文化財)
- ・大仏堂には、大仏(約5m)と3,000体を超える小仏(千体仏)が祀られている。

## 15 新湊漁港セリ市場

- ・早朝だけでなく、目前の海で漁獲された魚介類を午後1時の屋セリにかける。屋セリは、全国的にも珍しい。(休:水・日曜日)
- ・セリ人と買い手のやり取りを見ることができる。見学は新湊きつときと市場へ要予約。

## 16 新湊きつときと市場

- ・新湊漁港で水揚げされた新鮮な魚介類が豊富。
- ・鮮魚センター、レストラン、お土産コーナーなどがある。
- ・新湊漁港の屋セリ見学の申し込みができる。(0766-84-1233)

## 17 富山新港臨海野鳥園(バードパーク)

- ・野鳥とのふれあいの場を提供するために造成された臨海部に位置する野鳥園。
- ・池やヨシ原、樹林地などの野鳥の生息に適した恵まれた環境に、年間150種類の野鳥を観察することができる。(休:月曜日)

## 18 海王丸パーク(帆船海王丸・日本海交流センター・展望広場)

- 海の貴婦人「帆船海王丸」(ふね 帆船海王丸は — 商船学校の練習船として60年間活躍し、平成2年4月から係留保存された。現役中の姿そのまま公開し、ボランティアによる年10回の総帆展帆は見逃せない。
- 日本海交流センターは — 海洋文化への理解と知識を深める施設。世界の帆船の模型をはじめとする海・港・船に関する展示や海の情報発信を行っている。(休:水曜日)
- 展望広場は — 多言語で音声案内できる望遠鏡や対岸諸国・新湊大橋などを紹介する案内看板がある。たぐいまれな景観である海越しの立山連峰をPRしている。広場の標高は13.2m(イミス)。

## 19 新湊観光船

- ・海王丸パークから内川の12の橋と港・海を巡る50分コース、富山新港内を巡る30分コースの観光船を運航。
- ・船上ではカモメとふれあえる楽しみがある。
- ・運航の詳細は0766-82-1830まで(休:水曜日)

## 20 新湊大橋・あいの風プロムナード

- ・平成24年に開通した日本海側最大の斜張橋。
- ・アプローチ含む全長3.6km、主橋梁部600m、主塔の高さ127m、海面から橋桁までの高さ47m。
- ・2層構造で上が車道、下が歩行者専用通路(あいの風プロムナード480m)となっている。
- ・プロムナードへはエレベーターで昇降する。
- ・海上に浮かぶ空中歩廊からの富山新港や海王丸パーク、富山湾、射水平野の眺望は圧巻。
- ・安心していつでも通れるように、耐風・耐震対策を行った全天候型。20時から6時まで閉鎖

## 21 内川

- ・富山新港(旧放生津瀨)から流れ出ている川。
- ・放生津の街中を流れ、往時北前船などの海運や漁業で栄えた。
- ・特徴的な15の橋が架けられ、停泊している漁船や川沿いの家並みの風情を楽しむことができる。

## 22 富山新港展望台

- ・開港10周年を記念して建設された。(富山新港開港は昭和43年)
- ・港湾内を一望でき、開港の歩みや旧放生津瀨周辺の田園風景をパネルで展示。
- ・展望台の高さは、19.5m。休:12月29日から2月末まで

## 23 新湊弁財天

- ・放生津瀨の弁天島の社に弁財天と少童命が合祀されていたが、富山新港の造成をきっかけに片口地区に移された。
- ・高純度アルミ製で日本唯一、像の足元に胎内神として少童命が納められている。高さは15m(像高9.2m)

## 24 堀切跡地

- ・富山新港開港のため、昭和42年11月堀切が開削されて港口となった。富山地方鉄道射水線と県道水津・氷見線が切断された。
- ・射水線は、軌道の一部復元し歴史を後世に残している。

## 25 堀岡養殖漁業協同組合

- ・大門漁協とともに射水市の養殖漁業の拠点。
- ・大門漁協と連携し、サクラマス成長時期を海水で育てる「いみずサクラマス」の完全養殖をしている。
- ・陸上施設で水槽を使用しているの養殖も行っている。
- ・見学は要予約(0766-86-4240)

## 26 富山県新湊マリーナ

- ・日本海側で最大の規模を誇り、クラブハウス、係留桟橋、艇庫、船揚場などを完備。
- ・四季を通じて、クルージングやフィッシングなどのマリナーが楽しめる。

## 27 海老江まつり資料館

- ・東町と中町の曳山を保管・展示。
- ・春祭りの獅子頭や曳山の前人形など祭礼行事に関するものや郷土資料を展示。
- ・見学の申し込みは海老江コミュニティセンター(0766-86-0041 休:火曜日)

## 28 大寶寺(浄土真宗東本願寺派)

- ・法然の弟子光明坊宗重が開基。(13世紀)
- ・「絹本着色来迎三尊之図」(市指定文化財)など寺宝が多く、保存・管理のため「霊宝殿」を平成7年に建立。

## 29 旧田中家(勘兵衛はうす)

- ・江戸時代に網元として栄え、明治以降は廻船業や金融業で財をなした。
- ・入り母屋造りで2階建て、1階は数寄屋造りの建物。NPO法人アポロンが維持管理(国登録有形文化財)
- ・見学は要予約。(0766-54-6641)